別紙1

☑ ソフト事業のみ　☐ ハード事業を含む

成果指標設定調書

【成果指標の設定】

成果指標設定年度　4　年度

市町村名	春日部市			
提案事業名	武里駅西口エリアリノベーションまちづくり事業			
事業期間	4　年度　～　5　年度			
事業の必要性、目的	武里駅西口エリアは、商店街の高齢化、人手・後継者不足による空き家、空き店舗の増加などにより活力や賑わいが低下してきている。武里団地を管理するＵＲ都市機構による「団地集約事業」と連携し、本市のもつ地域資源や地域特色を活かしながらリノベーションまちづくりを推進し、地域コミュニティの再生、雇用創出、新たなまちの担い手の発掘、育成など地域課題を複合的に解決する。			
成果指標	（成果を検証する指標） ①事前講演会の参加人数 ②事前講演会参加者の実践型ワークショップへの参加意向			
	（成果検証の具体的な方法） ①事前講演会参加人数の把握 ②事前講演会参加者のうち実践型ワークショップへの申込み人数の割合			
	（上記の指標を設定した理由） 本事業は、他市（草加市）で令和３年６月２９日（火）１８時から開催された、（講演会名）まちづくり事前講演会・（講演内容）地域まちづくりリノベーション、参加実績（オンライン１０２名・現地参加５７人）を参考に、当市においても、今回、まちづくりの新たな担い手の発掘・育成による、地域資源を活かした持続可能なまちづくりを目指すことから、まちづくりへの参加意向を把握することによ			
	（成果の目標値）			
	現状値 （ 4年4月現在）	―	目標値 （ 5年4月時点）	①各100人（50人×2回） ②20%
	（施設建設等の場合）			
	年間利用者数（目標）（人）		稼働率（目標）（%）	
	住民への公表方法 及び特記事項	事前講演会および実践型ワークショップの実施に関する情報を市公式ホームページに掲載する。		

【成果指標と構成事業の関連性】

平成4年度　構成事業

構成事業名		概要・成果指標との関連性	事業費（千円）
① 武里駅西口エリアリノベーションまちづくり事業	ソフト	不動産オーナーのまちづくりへの意識醸成や創業予定者、まちづくりの担い手の発掘・育成のために事前講演会を開催するとともに、実践型ワークショップを開催し、空き店舗や公共空間の遊休不動産を活用する事業計画を作成し、事業化に結び付けることで、エリアの価値を高め、賑わいの創出を図る。	10,605
②	ハード ソフト 間接補		
③	ハード ソフト 間接補		
④	ハード ソフト 間接補		
⑤	ハード ソフト 間接補		
⑥	ハード ソフト 間接補		
		合計	10,605

【成果指標の達成見込み】

目標達成のための 具体的な方策	チラシ・ポスターや市公式ホームページ、市公式SNSを活用し広く周知を行う。また、事前講演会において、市からのデータ提供や専門家およびリノベーションまちづくり実践者による事例紹介を通して、対象エリアの課題を理解いただくとともに、まちづくりへの意識醸成を行う。
成果指標の達成見込み	上記の方策を着実に実行することで、目標達成を目指す。

（記入上の注意）

【成果指標の設定】

・住民への公表方法は具体的に記述すること

【成果指標と構成事業の関連性】

・提案事業を構成する各事業(構成事業)について次のとおり分類すること

「ハード」　施設建設等が中心の事業（ハード事業）。

「ソフト」　主に人的要素を活用した活動でハード事業以外の事業（ソフト事業）。

「間接補」　青年会議所、商工会議所・商工会、自治会、NPO等の公共的団体が実施する事業に対して市町村が補助金を交付するもの（間接補助事業）。

・事業費は補助金を要望する単年度の事業費のみ記入すること。また、間接補助事業の場合には、事業費の下に(　)書きで、市町村の負担額又は補助額を記入すること。